

東京農工大学広報戦略
研究成果のプレスリリースに関する講演会

伝わるプレス リリースとは

佐藤勝昭

名誉教授/リサーチアドバイザー

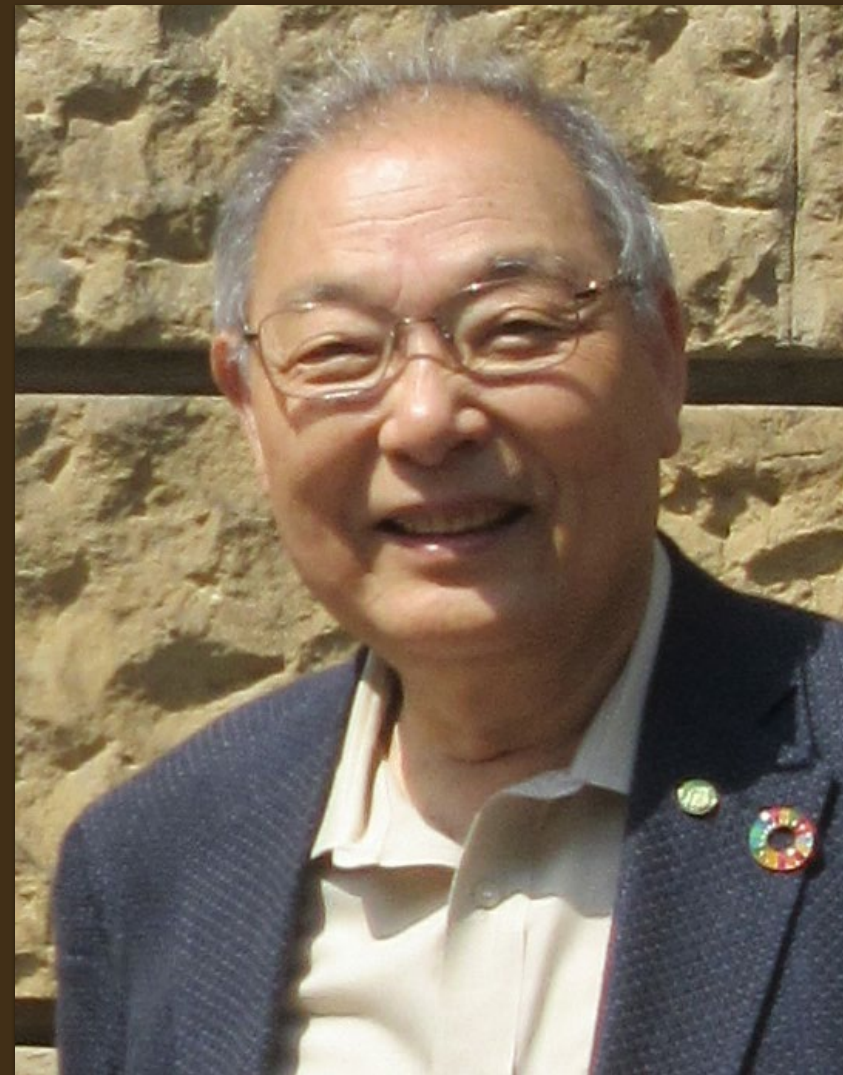
JST CRDS 特任フェロー

文科省ナノテクノロジープラットフォームPD



なぜ私が プレスリリースについて話すか

- ◇ わたしは、2008年から2019年まで 国立研究法人 科学技術振興機構 (JST) で**研究広報主監**をつとめ、**研究成果のアウリーチ**に関わってきました。
- ◇ JST 広報課では、月刊誌「**JSTニュース**」の取材・編集にあたったほか、定例の**プレスリリース**、**プレスレクチャー**などを通じて、国民に研究成果を伝えました。
- ◇ 科学と社会推進部に協力して「**サイエンスウィンドウ**」の編集アドバイザー、**サイエンスアゴラ**などの科学コミュニケーション活動を行いました。
- ◇ また、広報課/人財部の主催するJST職員に対する「**情報発信力講座**」にも、講師として協力しました。





はじめに

1. 農工大の広報戦略
2. なぜ外部発信力が求められるのか
3. どんな発信手段があるか
4. 誰に対して発信するのか
5. 受け手の立場に立って発信しよう
6. 感動をわかりやすく伝えるには



1. 農工大の広報戦略

社会への波及・経済的な成功



新たな価値 実現に向け人や資金を巻き込む



共感 感性・情緒



ストーリー 創造的に、わかりやすく

研究のシーズ

社会のニーズ

実現への技術的根拠

受け入れる相手の潜在的な要望

2. なぜ外部発信力が求められるのか

国民とともに創り進める科学・ 技術政策

(3) 研究情報の分かりやすい形での発信

○ 研究者は、それぞれの研究について、内容や成果を分かりやすく発信する取組を進める。例えば、3千万円以上の公的研究費を得た研究者には、小中高等学校や市民講座でのレクチャーなどの科学・技術コミュニケーション活動への貢献を求める。大学及び研究開発機関は、科学・技術コミュニケーターの配置、トレーニングの実施など、研究者のアウトリーチ活動が適切に実施できるような事務職員の支援体制の整備、地域を中心とした連携・協力体制を整備する。また、公的資金による研究論文は、可能な限り機関リポジトリに登録することとし、その際には、一般向けにも分かりやすい数百字程度の説明を添付する。

○ アウトリーチ活動の普及・定着を図るため、大学の組織的な取組を支援するとともに、研究者等のアウトリーチ活動への参画が業績評価に反映されるようにすることが求められる。

科学技術基本政策策定の基本方針より抜粋

総合科学技術会議基本政策専門調査会(2010年6月16日)

2. なぜ外部発信力が求められるのか

「アウトリーチ」から「対話」へ

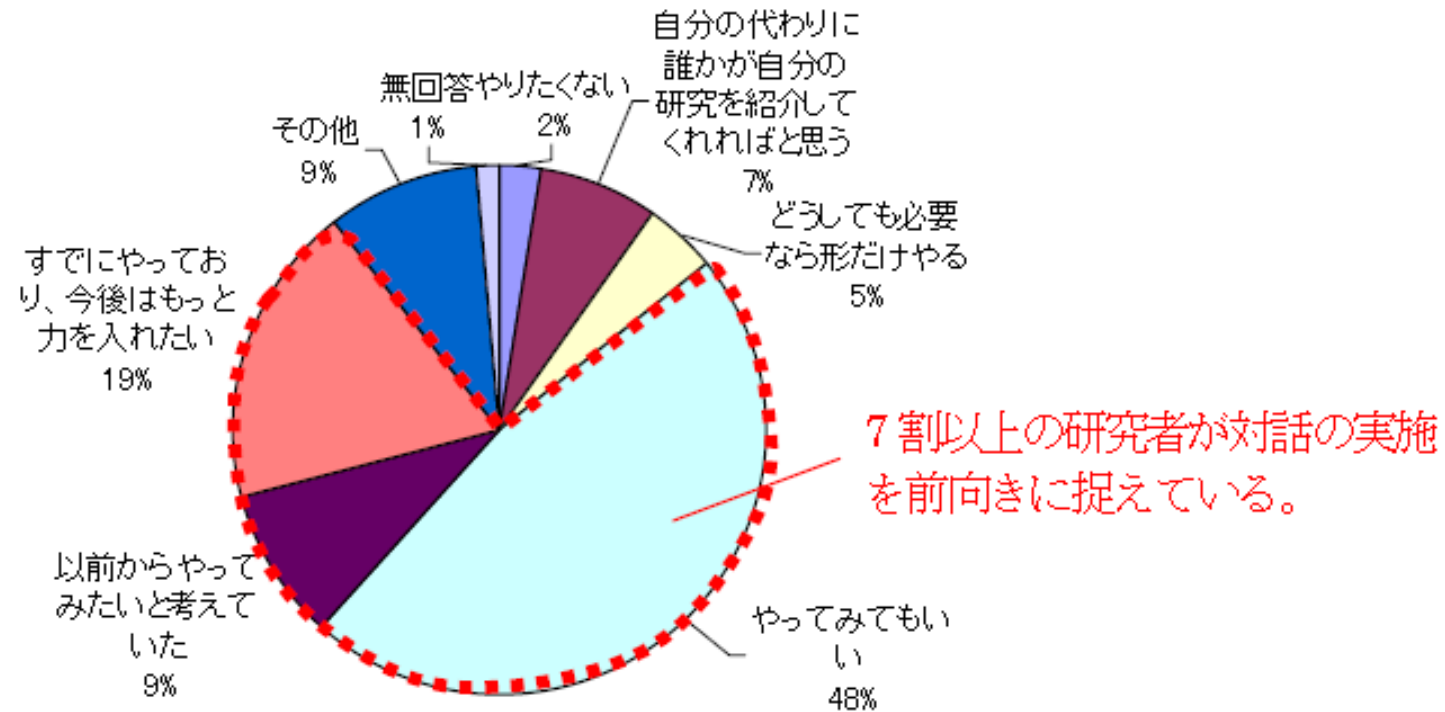
「アウトリーチ」という表現が使われることがあるが、これは「懇切丁寧に手を貸すこと」の意であり、上流の研究者から下流の人々へという**一方向性の印象**がある。

いま求められているのは**双方向のコミュニケーション**による社会とのつながりである。つまり、知識の質と量の違いが上下の関係にならず、情報の**送り手と受け手は互いに学び合い高め合う**関係にあることが望ましい。



2. なぜ外部発信力が求められるのか

研究者は「対話」に前向き



あなた自身が社会との対話を実施するよう求められたら、どう思いますか。(研Q13)

2. なぜ外部発信力が求められるのか

大学からの発信 ターゲットは

- ◇ 国民(納税者) ← 常に意識しよう
- ◇ 政府(文科省・財務省・内閣府)
- ◇ 地域(東京都・府中市・小金井市)
- ◇ 企業 → 産学連携・学生の受け入れ
- ◇ 学术界 ← これまでのターゲット
- ◇ 受験生 ← これからのターゲット

2. なぜ外部発信力が求められるのか

大学の研究プロジェクト における情報発信の意味

- ◆ **ターゲットの明示(公募にあたって)**
プロジェクトが何を指すか？
どんなプレイヤーに応募して欲しいか？
- ◆ **プロジェクト内容の明示(採択後)**
どんなテーマがあり、なにを指すか
どんなプレイヤーがいるのか？
- ◆ **プロジェクトの成果の明示**
アウトプットのわかりやすい紹介
アウトカム(社会的貢献)の紹介
インパクト(波及効果)の紹介



3. 外部発信にはどんな手段があるか

さまざまな発信手段

- ◇ 刊行物による発信
大学の概要・部局のパンフレット
- ◇ Webによる発信
大学/研究室の公式ホームページ
SNS(フェースブック・ツイッター・LINEなど)
メールマガジン
動画による発信(Youtube,)
- ◇ ホームカミングデイ
オープンキャンパス
入試説明会
- ◇ プレスリリース
レクつき
レクなし(投げ込み)

コロナのため、一部
オンライン開催



3. 外部発信にはどんな手段があるか

刊行物による発信



入試情報

ガイドブック

概要

TUAT EXPRESS

3. 外部発信にはどんな手段があるか

Webによる発信

The screenshot shows the website of Tokyo University of Agriculture and Technology (TAT). The header includes the university logo and navigation icons for various groups: 受験生の皆様 (Applicants), 在学生の皆様 (Students), 卒業生の皆様 (Graduates), 企業・研究機関の皆様 (Business/Research Institutions), and 地域・一般の皆様 (Local/General Public). The main navigation bar lists: 大学案内 (University Guide), 学部・大学院 (Faculty/Graduate School), 研究・産官学連携 (Research/Industry-Academia Cooperation), 国際交流 (International Exchange), 学生生活・就職進学 (Student Life/Employment/Advanced Study), and 入試情報 (Admission Information). The breadcrumb trail is: HOME > 大学案内 > 学長室より > 学長ビジョン (President's Vision). The main content area features a portrait of President Kazuhiro Chiba with the text "President's Vision" and "学長ビジョン". Below the portrait is the text: "CHIBA Kazuhiro, President, Tokyo University of Agriculture and Technology". A secondary message states: "学長ビジョン 科学を基盤に人の価値を知的に社会的に最大に高める 世界第一線の研究大学へ For a world-leading research university that maximizes human value intelligently and socially based on science". A "MORE SENSE" logo is also present. On the right, a sidebar titled "大学案内" (University Guide) lists various links: 学長室より (President's Office), 学長メッセージ (President's Message), 学長ビジョン (President's Vision), 学長プロフィール (President's Profile), 東京農工大学創基150周年記念事業 (150th Anniversary Commemorative Activities), 式辞・告辞 (Addresses/Announcements), 歴代学長等 (Former Presidents), 役員等紹介 (Introduction of Officers), 東京農工大学基金のご案内 (Introduction to the University Fund), 「農工大プラスチック削減5Rキャンパス」活動宣言 (Plastic Reduction 5R Campus Activity Declaration), 学長 特別座談会 (President's Special Interview), and 大学概要 (University Overview).

This screenshot shows a social media post or banner for "AT Plastic 5R Campus". The main text reads: "大プラスチック削減「キャンパス」活動宣言" (Large Plastic Reduction "Campus" Activity Declaration) and "AT Plastic 5R Campus". The background features a blue and white dotted pattern. At the bottom, there are several small images showing campus activities and a "research" logo.

3. 外部発信にはどんな手段があるか

オープンキャンパス

東京農工大学 工学部

午前の部は、現地&WEBで同時開催！
午後の部は、WEBで研究室をライブ配信！

生命工学科
生体医用システム工学科
応用化学科
化学物理工学科
機械システム工学科
知能情報システム工学科

秋のオープンキャンパス
～研究室大公開～

2020.11.15 Sun 午前の部 10:00 午後の部 13:00

「午前の部」および事前申込みが必要です。トにてご確認ください。
※新卒生はオンラインのみ参加可能。午前の部の現地開催はできません。

2020年度 秋の工学部オープンキャンパス ～研究室大公開
～(2020年11月15日(日曜日)開催)
60研究室を番組表に合わせてライブ配信

今だからこそ、「農学」。

在学生在が東京農工大学 農学部を案内します！

申込はこちら

— 高校生/受験生/卒業生/保護者 対象 —

農学部

秋のキャンパスハイク

— 10/31~12/5の土・日曜日 —

1日3回開催

3. 外部発信にはどんな手段があるか

年内水飲取への前掲とクをで
11月から有料化し、将来的に廃止を目指す。
農工大によると、大学全体で「使用ゼロ」を目指すのは日本で初めて。「削減、再利用、リサイクル」の英語の頭文字を並べた「3R」に、研究、再生可能資源への代替の頭文字を加え「農工大プラスチック削減5Rキャンペーン活動宣言」と名付けた。

プラスチック問題の第一人者の高田秀重教授を中心に、代替素材の開発やドローンを使った海のプラスチックごみ回収装置の開発研究を推進。プラスチックの微粒子「マイクロプラスチック」による汚染状況の調査や環境や生物への影響調査などにも取り組む。
大野弘幸学長は記者会見で「教育や研究を通じ

プラスチック学内ゼロに が活動 ペットボトル追放



プレスリリース(レクつき)

4. 誰に対して発信するのか

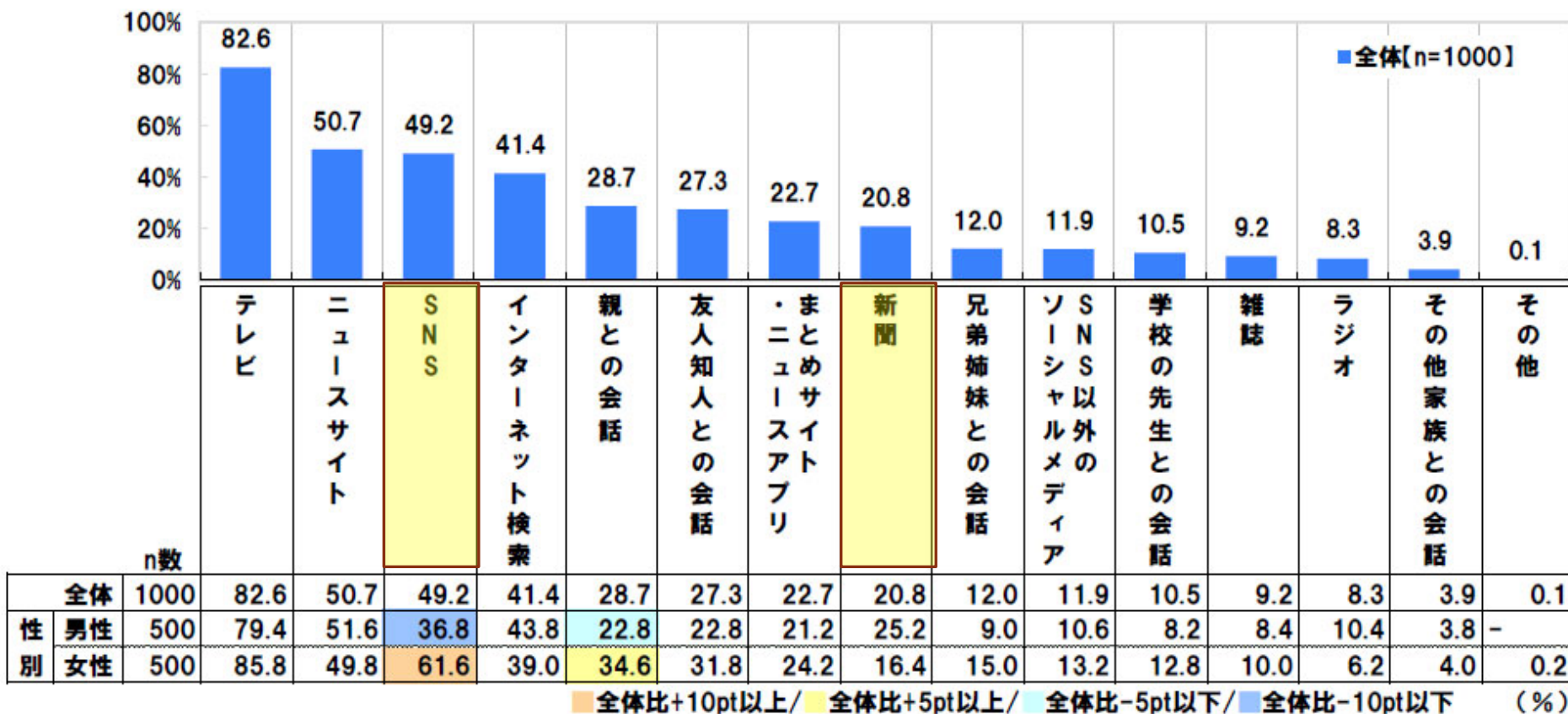
プレスリリースの発信相手 は誰か

- ◇ 同じ分野の研究者には学会誌、論文誌による情報提供で十分でしょう。
- ◇ プレスリリースは、メディアの読者・視聴者である国民に対するものです。
 - ◇ 産業界(ライフの場合は医療関係者)に知って貰いたい場合は、**業界紙**(化学工業日報など)や**産業紙**(日経産業、日刊工業など)向けに発信します。
 - ◇ 一般国民、政治家、政策担当者に知って貰いたい場合は、**一般紙**(科学面、できれば1面)を狙います。
 - ◇ 初等中等教育の教員、さらには、生徒・児童に伝えるには、**科学番組**をねらいます。

4. 誰に対して発信するのか

若者は「新聞」よりも「SNS」

◆ふだん、何からニュースなどの世の中の動きを知っているか [複数回答形式]



インターネットを使った調査で、15～23歳の男女1000人が回答した。調査期間は2016年7月4日から12日まで。



JSTプレスのメディア掲載件数(分野別成果)

●特徴

分野別成果のメディア掲載数は、ライフ分野が圧倒的に多い。

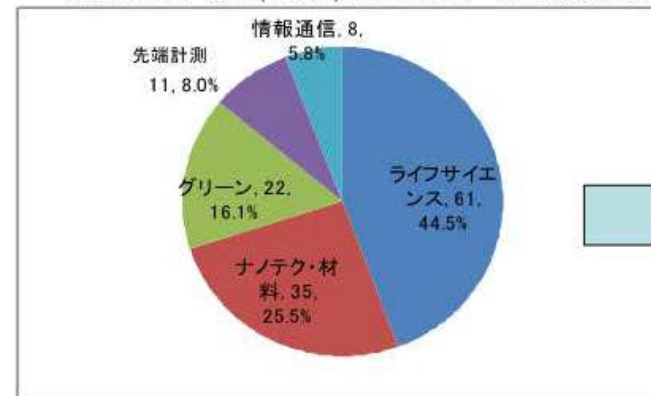
ライフ分野の成果のプレスリリースは全体の45%であるが、メディア掲載になると56%になる。

ライフ分野の成果は、メディアの関心が高く、インパクトがあるといえる。一方でナノテク材料の分野は、記事になる割合が低い。

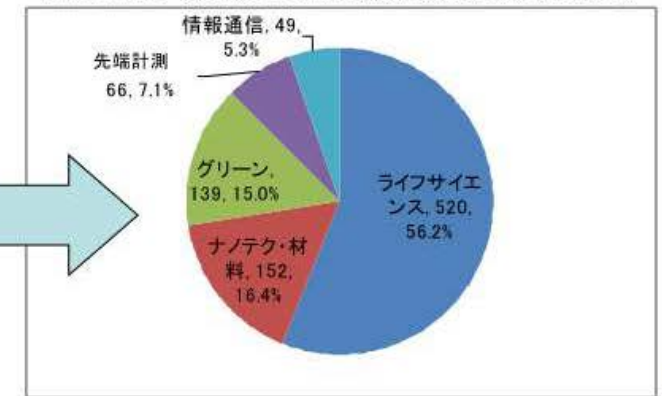
平成24年度 分野別成果メディア掲載件数

分野	掲載記事数	%
ライフサイエンス	520	56.2
ナノテク・材料	152	16.4
グリーン	139	15.0
先端計測	66	7.1
情報通信	49	5.3
	926	100.0

平成24年度 成果(137件)のプレスリリースの分野内訳



平成24年度 成果のメディア掲載数(926件)の分野内訳



プレス発表しても
掲載されるとは限らない(JSTの場合)

5. 受け手の立場に立って発信しよう

発信の受け手とは？

同じことを伝えるにも内容や相手によって、
表現や内容を変えなければなりません

- ◇ 研究成果：研究者、研究機関、学界、産業界、地域、国民
- ◇ 教育：受験生および関係者：教員、教育機関、教育産業、国民
- ◇ 地域貢献：研究者、研究機関、産業、メディア、国民

4. 受け手の立場に立って発信しよう

研究機関からの発表は 受け手の立場に立っているでしょうか(1)

- ◇ 巨大なスピンホール効果を示す非平衡銅合金を発見
～低消費電力スピノートロニクス素子へ道～(2020.10.15 東北大) ★☆☆☆
- ◇ 骨形成因子が脳室の繊毛形成を制御する
先天性水頭症の新規発症メカニズム理解への貢献が期待(2020.10.22 東北大) ★★☆☆
- ◇ 新奇な磁性トポロジカル絶縁体ヘテロ構造の作成に成功
ー磁性とトポロジカル物性の協奏現象に新たな知見ー(2020.10.8 分子研) ★☆☆☆
- ◇ 絶対零度付近でボース・アインシュタイン凝縮をした量子流体においてエネルギー輸送の直接測定に初めて成功し、乱流の普遍則を観測(2019.10.4 東大) ★☆☆☆
- ◇ 選択的PPAR α モジュレーターによる新規糖尿病網膜症治療薬の可能性
ーペマフィブラートの網膜神経保護への期待(2020.10.9 慶大) ★☆☆☆

4. 受け手の立場に立って発信しよう

研究機関からの発表は 受け手の立場に立っているでしょうか(2)

- ◇ 3次元量子ドット構造の形成実現によるLED発光を世界で初めて観察
—バイオテンプレート極限加工により次世代量子ドットLED実用化に道—★☆☆☆
(2014.9.4 北大)
- ◇ シリセンの基盤電子構造解明 ★★☆☆☆
—グラフェンを越えるシリセンの新機能開拓に道(2014.12.22 東北大)
- ◇ アフリカ・シクリッドの多様性は過去のゲノム多型が基盤 ★★☆☆☆
—シクリッド5種の全ゲノム配列を決定して解明—(2014.10.21 東工大)
- ◇ 末梢動脈閉塞性疾患の血管新生破綻機序の一因を発見 ★☆☆☆☆
(2014.11.7 名大)
- ◇ 深在性真菌症創薬の新しい標的
エルゴステリルグルコシド分解酵素EGCrP2を発見 (2013.1.13 九大) ★☆☆☆☆

4. 受け手の立場に立って発信しよう

末梢動脈閉塞性疾患の血管新生破綻機序の一因を発見

ある医学部の発表

- ◆ 末梢動脈閉塞性疾患患者での、VEGF-A(血管新生能を増強するサイトカインの一つ)血中濃度が健常人と比較して優位に上昇しているにもかかわらず、なぜ下肢組織虚血が改善されないかの矛盾点をVEGF-A の新たな抑制型アイソフォームVEGF-A165b に着目し、その病因の一旦を解明しました。
- ◆ これにより、今まで、末梢動脈閉塞性疾患患者において病態を把握する血液を用いた検査法が見いだせていないため、今後、VEGF-A165b が血管病の早期発見と治療法の標的となる可能性が示唆されました。

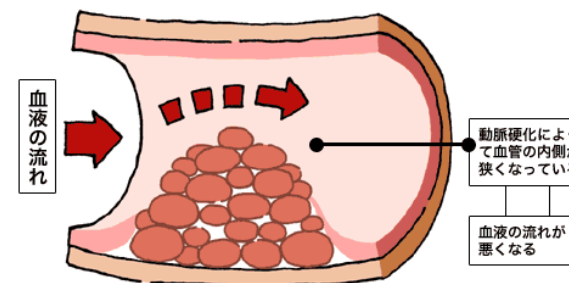
末梢動脈閉塞性疾患:全身の動脈の中でも主に手足に血液を届ける動脈を「末梢動脈」と言います。この末梢動脈に動脈硬化症が生じると、手足に血行不良が起こり、PADと呼ばれる病気になります。しびれや痛み、悪化すると潰瘍ができたり、ひどい場合には壊死したりすることもあります。末梢血管の病気の中で最も多いものです。

血管新生破綻:つまった血管から分枝伸長してあたらしい血管を形成する機能が働かないこと

VEGF-A: 血管内皮細胞増殖因子

VEGF-A165b: 血管内皮細胞抑制因子

この因子の働きを弱めれば治療でき
(治療法の標的)



5. 感動をわかりやすく伝えるには

感動が伝わるでしょうか

- ◇ 抗体の親和性を高める新しい方法を開発
(抗原キャリア複合体を用いずに、低分子認識抗体による検出性能を飛躍的に向上)
- ◇ てんかん発症の鍵となるタンパク質複合体の働きを解明
—特発性部分てんかんの発症メカニズムの理解へ—
- ◇ 体の左右非対称性をもたらす繊毛の回転運動、その仕組みを解明
- ◇ ナノ・材料 冷却原子気体の普遍的な熱力学関数の決定に成功
(高温超伝導などの理解を進める)
- ◇ 粘菌の輸送ネットワークから都市構造の設計理論を構築
—都市間を結ぶ最適な道路・鉄道網の法則確立に期待—

5. 感動をわかりやすく伝えるには

文章の考え方

- ◇ 「難しいこと」は「簡単」に、翻訳して書く
中学生にも分かる文章にする= 絶対原則
- ◇ 簡単なことには「説明」や「理屈」を付ける
もってもらくなる
- ◇ 相手の立場に立って書く
読む人の気持ちになって、もう一度(何度も)見直す。
- ◇ 声に出して読む(音読する)
- ◇ 書いた翌日、推敲する
- ◇ 書きあげた文章を、親しい人(家族、友人)に読んでもらい、分かりにくいところを直す

出典: 浅羽雅晴: JST実践文章力講座

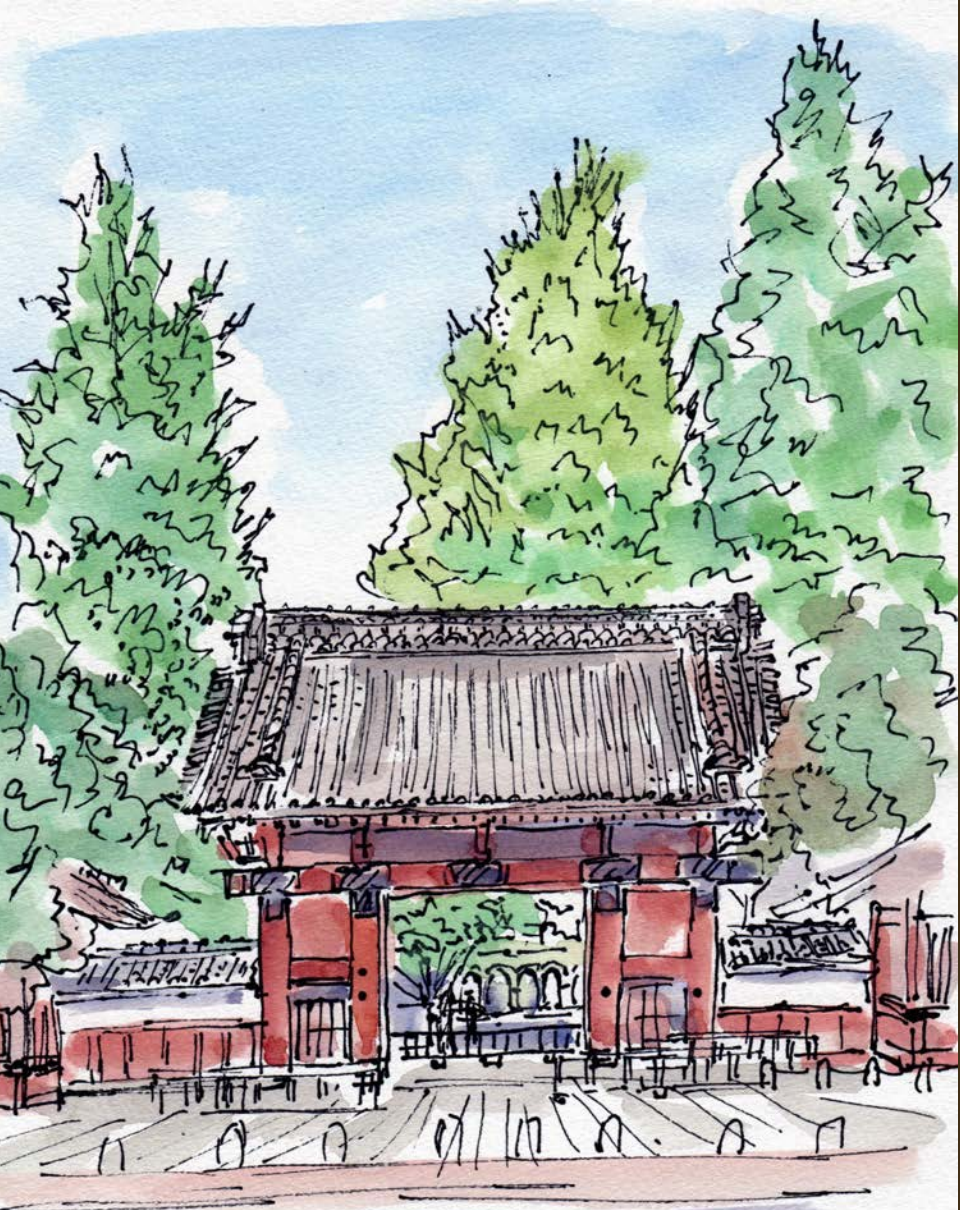
5. 感動をわかりやすく伝えるには

使わないほうが良い言葉

- ◇ **カタカナ語** (科学分野には特に多い)
アイデンティティ、イノベーション、アプローチ
- ◇ 「～的」「～性」は**ゴマカシ**、**意味不明が多い**
創造性、利便性、機能的、絶対的、わたしの
- ◇ 「行う(行われた)」「**～おいて**」
音楽会が行われた会場(音楽会場)においては → **音楽会場では**
- ◇ 「いずれにしても」
- ◇ 受動形は使わない
○○研究所により発表された → **研究所が発表した**

出典: 浅羽雅晴: JST実践文章力講座





Red Gate
Univ Tokyo
2019.10.6

KATSUAKI

5. 感動をわかりやすく伝えるには

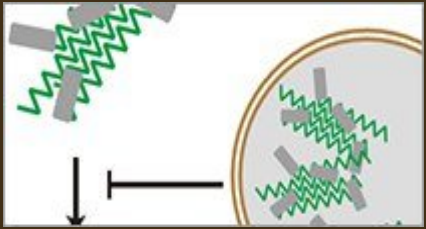
大学広報の努力が見える (1) 読んでみたくなるタイトル

◇ 東京大学

- ◇ 2005/4/30 世界最高強度の光で探る真空
- ◇ 2005/4/25 明るすぎる超新星、手前に虫めがねがあった！
- ◇ 2005/4/23 原始宇宙の中性水素ガスの兆候を発見
- ◇ 2005/4/17 タンパク質を細胞膜に組み込むメカニズムを解明
- ◇ 2005/3/24 植物の木質細胞が作られる仕組みを解明
- ◇ 2005/3/20 「あかり」が捉えた星間有機物の進化
- ◇ 2005/3/20 『化粧』をする星
- ◇ 2005/3/19 銀河団における巨大なエネルギーの流れを発見

大学広報の努力が見える (2)図を効果的に使う

◇京都大学



ポリユビキチン鎖のアミロイド様線維形成を発見
—神経変性疾患における脳内異常タンパク質
凝集の形成機構解明に期待—



魚類が「胎生」になるために獲得した仕組みの
一端を解明



骨標本で外来魚を駆除



自閉症児童は表情のよみとりが苦手
—コミュニケーション困難の一因か?—



5. 感動をわかりやすく伝えるには

農工大最近のプレスリリース

- ◇ 超高屈折率・無反射な新材料のレンズで電磁波を操る
-未来の通信や熱マネジメントに向けて-(2020. 7/14, JSTと共同→9/10[子どもの科学](#))
- ◇ 科学博物館「幻の製糸場を追え！ 勸工寮葵町製糸図面3D化プロジェクト」
近代製糸技術初期の繰糸器と製糸場の概観を復元！(5/11→10/25[東京新聞](#))
- ◇ 光と月と外来種？！
～人工光による外来カエルへの影響は月の満ち欠けに影響される～(4/20→5/1[科学新聞](#),6/21[日経](#))
- ◇ 「時計仕掛けのケヤキ並木」のカオス同期
～新宿と府中のケヤキらは20kmはなれていても同期する～(2019 10/31)
- ◇ 秋のドングリがクマの一年を支える
～エネルギー収支から見たツキノワグマの食いだめ戦略～(2019.10/17)
- ◇ 農工大学内でプラ削減
マイボトル利用呼びかけ(2019.8/10→8/10-8/21[読売](#)・[日経](#)・[朝日](#)・[毎日](#))



5. 感動をわかりやすく伝えるには

プレスリリースなしでのメディア掲載

- ◇ 相次ぐクマ被害 ドングリ不作、広がる生息域...市街地「どこでも」
-小池伸介准教授のコメント-(2020 10/27, 産経新聞他)
- ◇ (ののちゃんのDO科学) 新型ウイルスはどこから来た? 水谷哲也教授が取材協力
(10/10朝日)
- ◇ かがくのツボ コロナワクチン開発出遅れた日本 水谷哲也教授がコメン
(9/27 産経)
- ◇ SmartTimes 専門職のつながり促進を 伊藤伸教授 (9/11日経産業)
- ◇ 途上国の子どもたちへ絵本 海洋ごみ問題解決へ大学生
絵本「つなげビニーのゆめ」プロジェクトの東京地区のチームリーダー 安居院くん(9/9朝日)
- ◇ マイクロプラ 家事でも出ます 高田秀重教授のコメント (9/3朝日)



5. 感動をわかりやすく伝えるには

農工大のプレスリリースとメディア掲載

発表日	分類	タイトル	所属・肩書	発表者	掲載紙
2020.09.29	研究成果 (ライフ)	生体のやわらかさを再現したマイクロポストアレイでの細胞牽引力の計測と運動を模倣した伸展刺激に対する細胞の適応（応答）機構を解明	工・応用化学 客員教授	跡見順子	
2020.09.28	研究成果 (マテリアル)	二液体が一部だけ混ざり合う性質による流動界面のトポロジカル変化を発見～粘度差に由来する界面流動の通説を覆す～	工・応用化学 准教授	長津雄一郎	EurekAlert
2020.09.17	研究成果 (ライフ)	クワだけを食べるカイコの食性を実現する「味覚の2段階認証システム」を発見	農・BASE 教授	佐藤令一	日経オンライン 日経10/4
2020.09.14	研究成果 (ライフ)	カーネーションの花にもカロテノイドの存在を発見～今までにない鮮やかな黄色のカーネーションの品種開発が期待～	工・生命機能 教授	小関 良宏	農協新聞11/2 日本農業 10/16 科学新聞10/2
2020.09.11	研究成果 (マテリアル)	脂質二分子膜の引き剥がしによる膜タンパク質によるポア形成メカニズムの解析	工・生命機能 教授	川野竜司	
2020.09.10	研究成果 (ライフ)	難防除害虫のナミハダニの薬剤感受性を決定するGABA受容体の一次構造を解明	農・BASE 准教授	鈴木 丈詞	日本農業10/16
2020.09.04	研究成果 (マテリアル)	入手容易な光学活性アミノアルコールを骨格とした新世代共役塩基安定化型キラルカルボン酸触媒の開発に成功	工・生命機能 助教	小田木 陽	
2020.08.28	研究成果 (ライフ)	イネ品種タカナリ、圃場の光環境・高CO2濃度でも高い光合成能力1日の積算光合成量を評価 将来の多収性育種にも期待	農・産連 研究員	大久保智司	

5. 感動をわかりやすく伝えるには

農工大のプレスリリースとメディア掲載

発表日	分類	タイトル	所属・肩書	発表者	掲載紙
2020.08.19	研究成果 (ライフ)	葉の構造を模倣し、生物活性物質を効率よく虫に経口摂取させる人工給餌システムを開発	農・BASE 准教授	鈴木丈詞	日本農業9/7 日経産業10/6
2020.08.18	研究成果 (ライフ)	ロックダウンによるコロナウイルス感染拡大抑制効果の相対的な予測に向けて	工・生命 教授 農・感セ 教授	黒田 裕 水谷哲也	マイナビニュース 8/18 大学ジャーナル 8/23
2020.08.17	研究成果 (ライフ)	ナノポアを用いたDNA の一塩基変異位置の検出に成功	工・生命機能 教授	川野竜司	EurekAlert
2020.08.07	研究成果 (マテリアル)	レーザー光によりガラス表面を簡単にナノ加工できる技術を開発 ～光学部品に新しい機能付加の可能性～	工・先端物理 准教授	宮地 悟代	日経産業8/19 科学9/4 アドコムメディア
2020.08.03	研究成果 (マテリアル)	巨大ながんスフェロイドを簡単に作製できる手法を開発	工・先端物理 准教授	吉野大輔	ChemStation
2020.08.03	研究成果 (ライフ)	マイクロ電極を用いた簡易ナノポアセンサーの開発	工・生命機能 教授	川野竜司	アドコムメディア
2020.07.28	研究成果 (フォトニクス)	高画質なホログラフィの動画化を実現：将来の全周立体映像技術 に向けて	工・先端機械 准教授	岩見 健太郎	EurekAlert
2020.07.14	研究成果 (フォトニクス)	超高屈折率・無反射な新材料のレンズで電磁波を操る-未来の通信 や熱マネジメントに向けて-	工・電気電子 准教授	鈴木 健仁	日経オンライン EurekAlert

5. 感動をわかりやすく伝えるには

農工大のプレスリリースとメディア掲載

発表日	分類	タイトル	所属・肩書	発表者	掲載紙
2020.7.10	研究成果 (マテリアル)	マイクロ流路を利用して、多孔性材料の生成メカニズムを解明 -結晶生成における各配位子の役割解明-	工・生命機能 教授	川野竜司	日刊工業8/6 科学8/7
2020.6.8	研究成果 (ライフ)	リーディングシュタイナーを発動!?『2.5次元培養細胞』の作出 に成功～筋層浸潤性膀胱がんの新たな治療法開発への利用に期待	農・動物生命 特任講師	臼井 達哉	EurekAlert
2020.5.12	研究成果 (ライフ)	クマそれぞれのお食事メニュー ～性別と年齢で変わる食生活～	農・特任助教	長沼 知子	毎日5/26 日経5/31 EurekAlert
2020.5.11	研究成果 (その他)	東京農工大学科学博物館「幻の製糸場を追え！勸工寮葵町製糸図 面3D化プロジェクト」 近代製糸技術初期の繰糸器と製糸場の 概観を復元！	科博・特任助教	齊藤 有里加	東京10/25
2020.5.7	研究成果 (マテリアル)	太陽の100億倍明るい「放射光」を用いて これまで未解明であった触媒的酸化反応の機構を完全解明： 芳香族ポリイミド原料などの効率的合成に期待	工・応用化学 教授	平野雅文	
2020.4.20	研究成果 (ライフ)	光と月と外来種?!～人工光による外来カエルへの影響は月の満 ち欠けに影響される～	農・特任助教	小峰浩隆	科学新聞5/1 日経6/21 EurekAlert
2020.3.10	研究成果 (ライフ)	新型コロナウイルス『COVID-19』の迅速診断が可能に ～自動PCR 検査システム活用による、世界に先駆けた技術開発～	工・生命教授 農・感セ教授	養王田正文 水谷哲也	日刊工業3/11他 ネットメディア
2020.2.26	研究成果 (ライフ)	妊娠中の食物繊維摂取は胎児の代謝機能の発達を促し、出生後、 子の肥満になりにくい体質をつくる	農・応生教授	木村郁夫	朝日3/4 日経産業3/12他 ネットメディア

5. 感動をわかりやすく伝えるには

農工大のプレスリリースとメディア掲載

発表日	分類	タイトル	所属	発表者	掲載
2019.8.9	お知らせ	「農工大プラスチック削減 5Rキャンパス」活動宣言について			8/10-8/21読売・日経・朝日・毎日
2019.8.19	研究成果 (ライフ)	アレルギー性鼻炎（花粉症）原因物質、スギ・ヒノキ花粉飛散量の日本列島広域における同期状態の可視化に成功	農・自然環境 教授	酒井憲司	8/26EurekAlert
2019.8.19	研究成果 (環境)	海鳥が食べたプラスチック片から添加剤を検出	農・物質循環 教授	高田秀重	10/25日経産業
2019.8.20	研究成果 (マテリアル)	カシューナッツの殻から無色透明材料の開発に成功～地球規模環境問題の緩和策と新興国への科学技術支援に期待～	工・応用化学 助教	兼橋 真二	8/22,25財経新聞
2019.8.22	研究成果 (マテリアル)	ホウ素化されたポリエーテル骨格を1つの反応容器内で合成し、他の有機分子への骨格導入に成功：抗生物質や抗がん剤の合成簡略化やフロー合成に期待	工・応用化学 教授	平野雅文	8/23日経
2019.8.26	研究成果 (フォトニクス)	プラズモン熱と熱電変換を組み合わせた新しい光検出器を開発	工・電気電子 准教授	久保若奈	8/24日経
2019.9.6	研究成果 (ライフ)	腸内細菌は食用油に含まれる多価不飽和脂肪酸を代謝することにより宿主の肥満を防ぐことを解明	農・応用生命 准教授(現京大)	木村郁夫	9/10 財経新聞、大学ジャーナル、Q Life、9/20 スポーツ栄養WEB、9/24 あなたの健康百科
2019.9.13	研究成果 (ICT)	スマートフォンで撮影された将棋局面をAIが認識	工・情報 教授	中川正樹	9/13 日刊スポーツ、yahoo ニュース、Goo ニュース、9/21大学ジャーナル

5. 感動をわかりやすく伝えるには

プレスリリースは新聞記事ではこう変わる

もとのプレスリリース(抜粋)8/9

- ◆ 「農工大プラスチック削減5Rキャンパス」活動宣言
- ◆ 本学は、2019年8月9日(金)に、SDGsの達成、2050年**石油ベースプラスチックゼロ**に向けて、使い捨てプラスチックの削減と、課題解決のための新素材の創生等を含めた研究の推進に取り組む「農工大プラスチック削減5Rキャンパス」(TUAT Plastic 5R Campus)活動を宣言しました。
海洋汚染の原因とされるプラスチックごみの規制は、2019年6月のG20大阪サミットでも焦点の1つとなりましたが、東京農工大学では、マイクロプラスチック汚染について研究を続けてきた農学研究院 高田秀重教授を中心とする農学・工学融合の研究チームを発足し、早くから本課題に取り組んで参りました。
5R
2019年5月に政府が作成したプラスチック循環資源戦略における「3R(Reduce, Reuse, Recycle)+ Renewable(再生可能資源への代替)」の基本原則に、研究(Research)を加えた、本学独自の取組です
今回の活動宣言に基づいて、プラスチック削減策(マイボトル用給水器設置によるペットボトル削減、生協購買部等の学内販売におけるレジ袋の削減、大学ノベルティグッズからのプラスチック削減への取組)、教育活動を通じた次世代の育成、社会貢献活動を通じた普及啓発活動に、取り組んで参ります。
「マイボトル用 浄水給水器」を設置
不純物質を取り除きミネラルは残す浄水機能を備えた「マイボトル用 浄水給水器」を府中・小金井両キャンパスに設置しました。マイボトルを持参の上、ぜひご利用ください。

記事になるとこう変わる(日経8/11)

- ◆ 大学から**使い捨てプラ追放** 農工大が活動宣言
- ◆ 東京農工大は11日までに、2050年に**石油を原料とするプラスチックの使用をゼロ**にすることを目指し、学内の使い捨てプラスチックの使用削減に取り組む活動を始めると発表した。

来年4月、学内に約30台ある自動販売機から**ペットボトル飲料を追放する一方、給水器の設置を進める**。学内の生協ではレジ袋を今年11月から有料化し、将来的に廃止を目指す。

農工大によると、大学全体で「使用ゼロ」を目指すのは日本で初めて。「削減、再利用、リサイクル」の英語の頭文字を並べた「3R」に、研究、再生可能資源への代替の頭文字を加え「農工大プラスチック削減5Rキャンパス活動宣言」と名付けた。

プラスチック問題の第一人者の高田秀重教授を中心に、代替素材の開発やドローンを使った海のプラスチックごみ回収装置の開発研究を推進。プラスチックの微粒子「マイクロプラスチック」による汚染状況の調査や環境や生物への影響調査などにも取り組む。
- ◆ 大野弘幸学長は記者会見で「教育や研究を通じて社会全体に動きを広げたい。50年に石油由来のプラスチックを全て天然素材からのものにすることは可能だ」と述べた。(共同)

5. 感動をわかりやすく伝えるには

ネットニュースに取り上げられると・・・

新型コロナウイルス『COVID-19』検査の完全な
自動化が可能に
～検査の負担軽減、信頼性向上、迅速化へ

自動PCR検査システム活用で新型コロナウイルスの迅速診断が可能に 東京農工大学
(大学ジャーナル)

国立大学法人東京農工大学大学院工学研究院生命機能科学部門の養王田正文教授および農学部附属国際家畜感染症防疫研究教育センターの水谷哲也教授、プレジジョン・システム・サイエンス株式会社（PSS 社）らは、『COVID-19』等重篤感染症水際防止のための自動PCR 検査システム対策で連携し、これまでの共同研究成果を元にPSS 社が開発した、核酸抽出からリアルタイムPCR を全自動化した「geneLEAD システム」を活用し『COVID-19』の迅速診断技術の可能性を確認いたしました。本プロジェクトの成果を元に、今後、検査機関とも協力し、『COVID-19』の迅速診断法確立への貢献が期待されます。

研究成果：
東京農工大学（工学研究院生命機能科学部門）とPSS 社は、磁性体を用いた核酸の抽出や機能解析等について共同研究を行い、その結果としてPSS 社は、核酸抽出からリアルタイムPCR を全自動化した「geneLEAD システム」を開発しました。当該システムは各研究機関や病院で行われているPCR 検査の複雑、且つ高精度を要する工程をMagtration Technology、L・L スキャナー、試薬プレフィルドカートリッジにより、正確且つ迅速、簡便に自動実施できるよう設計されています。

すでに、PSS 社のサイエンティフィックアドバイザーボードの微生物学専門メンバーを中心に、細菌やウイルス分野における活用指針が示され、熱帯、亜熱帯で発生し、世界への拡散が予想されるデング熱、ジカ熱、エボラ熱、西ナイルウイルスあるいはマラリア等に対応できる汎用性の高いシステムとして製品化されています。

東京農工大学（農学部附属国際家畜感染症防疫研究教育センター）とPSS 社は、それらの成果を活用して、早急に喫緊の課題である『COVID-19』を対象とした、検査試薬とgeneLEAD システムの反応最適化条件の設定を実施することとしています。

東京農工大学大学院工学研究院生命機能科学部門の養王田正文教授、農学部附属国際家畜感染症防疫研究教育センターの水谷哲也教授は、とプレジジョン・システム・サイエンス株式会社らとの共同研究成果をもとに、新型コロナウイルス『COVID-19』の迅速診断技術の可能性を確認した。

「COVID-19」について、治療が困難なウイルス伝染や拡散を防ぐためにはPCR検査による診断と接触の最小限化が不可欠であり、水際検査システムを確立する必要がある。しかし各地の検体検査機関では、連日の緊急PCR検査に大きな負荷がかかっており、検査の自動化と精度の安定化が大きな課題となっている。

東京農工大学（工学研究院生命機能科学部門）とプレジジョン・システム・サイエンスは磁性体を用いた核酸の抽出や機能解析等について共同研究を行い、同社は核酸抽出からリアルタイムPCRを全自動化した「geneLEADシステム」を開発した。このシステムは各研究機関や病院で行われているPCR検査を正確かつ迅速、簡便に自動実施できるよう設計されており、すでにデング熱、ジカ熱、エボラ熱、西ナイルウイルス、マラリア等に対応できる汎用性の高いシステムとして製品化されている。

今回、東京農工大学（農学部附属国際家畜感染症防疫研究教育センター）と同社はこれらの成果を活用して、早急に「COVID-19」の検査試薬とgeneLEADシステムの反応最適化条件の設定を実施する。システム導入により、労力を要し精度に大きく影響する鼻咽頭拭い液などからのウイルス核酸の抽出精製、PCR測定と結果の判定まで全自動化し、検体もバーコード管理で管理されるため現場の負担軽減が期待される。

東京農工大学は、このプロジェクトの成果を元に、検査機関と協力して、「COVID-19」の迅速診断に貢献したいとしている。また、今後も発生が予測される重篤感染症対策として、迅速に対応できる運用性の高いPCR検査システムは不可欠であり、世界に先駆けてのシステム構築を目指す。

おわりに 感動を伝えるには

- ◇ 伝える側がワクワクしないと、相手を感動させることなどできません。
- ◇ 磨け「感動を伝える」発信力！
- ◇ もて！好奇心
- ◇ 磨け！感性
- ◇ **伝えるために相手を知ろう**

